

明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。終業式で私は、新年を迎えることはリセットすることであると言いました。皆さんはどんなリセットをしましたか。

今年は、皆さんを取り巻く社会にも多くのリセットがあります。日本では、4月1日に新元号の発表、5月1日には新天皇の即位があります。政治分野では4月に統一地方選挙、7月に参議院議員選挙があります。現在の3年生全員と2年生の一部の人は選挙に関わることになります。そして、10月1日には消費税が10%になります。世界に目を移せば、イギリスのEUからの離脱が3月29日に予定されています。君たちの財布の中身や消費活動にこれらの動きがどう影響するのか、考えてみる良い機会です。考えるための知識は習っているはずですが、知識は使ってこそ生きてきます。

以上は、私たちを取り巻く社会のリセットです。今度は君たちの内なる世界に目を向けてみてください。元日の夜から2日の明け方までに見た夢は初夢といわれますが、見ましたか。全員が見たわけではないと思います。夢をみることは意識して見れるものではないからです。皆さんに全員にしてもらいたいことは、「夢を持つ」ことです。将来がある皆さんは、自分の夢に基づいて考え行動すべきと思うからです。その夢に基づいてこの1年の具体的な目標を立て取り組んでもらいたいからです。

私は、年明け箱根駅伝を見ました。今年は青山学院大学の総合優勝5連覇はなりませんでしたが、この大学をあそこまで強豪校に育て上げた原監督の指導法には注目が集まっています。ポイントは目標管理術にあるようです。選手たちにA4シートに目標を書かせて食堂に貼ることで全員に公開しているというのです。また、本人も毎日目にすることで達成への意欲が高まるのだそうです。

シートには1年間の目標が書かれています。ここまでなら特別なこととは思いません。年の始めにその年の目標を立てることは、書く書かないは別にしてほとんどの人がしていることだからです。このシートの特徴は、1年間の目標の下に「1ヶ月ごとの目標」「週の目標」が書かれていることです。さらに、どんなに小さな大会でもそのときの状況に応じた目標設定と確認を繰り返し行うそうです。

私たちが1年の目標を立てても途中で諦めたり忘れてしまうのは、その目標を達成するための半歩先の目標が立てられていないからなのでしょう。1年の目標に対する1ヶ月ごとの目標や週の目標がないからなのです。1年の目標は夢に近く、1ヶ月の目標は現実に近い。目標が言うだけで終わらない責任あるものであるためには、現実的な半歩先の目標が言えることだと思います。それが日々の着実な行動を引き起こすのです。高校生である君たちにとっては、進路実現や部活動の目標達成にもこの方法は使えるはずです。

夢を持ち、目標を立て、さらに半歩先の目標と計画をつくり、着実に日々の生活を送る年にしてください。新しい年の始まりに当たり今日は、私たちを取り巻く社会状況と目標管理に関する話をしました。今年が皆さんにとって充実した実りある年となることを祈ります。

平成31年1月8日

島根県立大社高等学校
校長 吉田 彰二